



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社 成学社 上場取引所 東
コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 山本 一之 (TEL) 06-6373-1571
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,552	8.9	802	22.2	796	21.4	527	40.0
2024年3月期第3四半期	9,688	3.2	657	△0.9	656	△1.6	376	△9.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 522百万円(37.2%) 2024年3月期第3四半期 380百万円(△9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 95.05	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	67.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 10,231	百万円 3,894	% 38.1
2024年3月期	8,863	3,474	39.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 3,894百万円 2024年3月期 3,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 18.00
2025年3月期	—	9.50	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,791	5.3	746	6.2	733	3.2	397	△8.3	71.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

株式会社一会塾
新規 2社 (社名) 株式会社ピグマリオン・アカデミア、除外 1社 (社名) 株式会社ピグマリオン・アカデミア

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	5,876,000株	2024年3月期	5,876,000株
2025年3月期3Q	328,102株	2024年3月期	328,102株
2025年3月期3Q	5,547,898株	2024年3月期3Q	5,548,025株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(追加情報)	10
(企業結合等関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」等を運営し、幅広い教育及び保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,552,872千円（前年同期比8.9%増）、営業利益は802,934千円（前年同期比22.2%増）、経常利益は796,455千円（前年同期比21.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は527,352千円（前年同期比40.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①教育関連事業

例年ピークを迎える11月時点のグループ在籍者総数（直営教室に限る）は27,438人（前年同月比5.4%増）と塾生募集が良好な個別指導部門の伸びが牽引し、前年同月を大幅に上回りました。部門別では、個別指導部門19,739人（前年同月比7.0%増）、クラス指導部門6,412人（前年同月比0.3%減）、保育部門745人（前年同月比0.5%増）、その他の指導部門542人（前年同月比30.6%増）となりました。

学習塾部門の売上高は、個別指導部門では授業料の改定に加え塾生数が増加し講習会も好調だったこと、クラス指導部門では連結子会社化した株式会社一会塾が寄与したことにより、前年同期から増加いたしました。保育部門では、運営補助金の交付決定が前年より早まったこと、公定価格改定に伴う給付金の増加等により、売上高は増加いたしました。その他の指導部門では、「開成アカデミー日本語学校」の学生数の増加により、売上高は増加いたしました。

費用面では、従業員の処遇改善に伴う人件費の増加、塾生募集強化のためWEB広告を積極的に実施したことによる広告宣伝費の増加、株式会社一会塾の連結子会社化に伴う費用の発生等により、費用は増加いたしました。

この結果、売上高は10,470,345千円（前年同期比8.9%増）、売上高の伸びで費用を吸収したことにより、セグメント利益（営業利益）は830,805千円（前年同期比20.1%増）となりました。

②不動産賃貸事業

所有不動産の余剰スペース（賃貸スペース）及びテナントの入居状況に大きな変動はなく、売上高は31,333千円（前年同期比2.9%増）、前期の一過性費用（修繕費用）が減少し、セグメント利益（営業利益）は17,629千円（前年同期比12.1%増）となりました。

③飲食事業

ランチ、ディナーともに需要が堅調に推移したこと、客単価が向上したこと等により、売上高は51,193千円（前年同期比8.6%増）、人件費の増加、原材料価格の高騰等を受けたものの、前期の一過性費用（大規模修繕）が減少したことにより、セグメント損失（営業損失）は2,961千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）8,806千円）と改善いたしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から1,368,830千円(15.4%)増加し、10,231,894千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から1,005,081千円(28.6%)増加し、4,523,915千円となりました。これは主として営業未収入金及び契約資産が前連結会計年度に比べ1,372,483千円、その他に含まれる未収入金が同171,280千円増加し、現金及び預金が前連結会計年度に比べ513,771千円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末から363,749千円(6.8%)増加し、5,707,979千円となりました。これは主としてのれんが前連結会計年度に比べ145,434千円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が同91,193千円、有形固定資産が同86,358千円、差入保証金が同45,371千円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末から948,908千円(17.6%)増加し、6,337,513千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から654,184千円(19.3%)増加し、4,042,762千円となりました。これは主として前受金が前連結会計年度に比べ589,712千円、未払法人税等が同103,295千円増加したことによります。固定負債は、前連結会計年度末から294,723千円(14.7%)増加し、2,294,751千円となりました。これは主として長期借入金が増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末から419,922千円(12.1%)増加し、3,894,380千円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(2024年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,996,744	1,482,972
営業未収入金及び契約資産	1,119,407	2,491,890
商品	46,146	36,018
仕掛品	-	280
貯蔵品	10,378	10,415
その他	351,552	508,915
貸倒引当金	△5,395	△6,577
流動資産合計	3,518,834	4,523,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,586,840	4,770,446
減価償却累計額	△2,018,176	△2,157,311
建物及び構築物 (純額)	2,568,664	2,613,135
土地	1,107,259	1,107,259
その他	925,831	1,010,769
減価償却累計額	△716,567	△759,618
その他 (純額)	209,264	251,151
有形固定資産合計	3,885,187	3,971,545
無形固定資産		
のれん	9,978	155,413
その他	179,962	173,886
無形固定資産合計	189,940	329,299
投資その他の資産		
差入保証金	928,019	973,391
その他	341,081	433,742
投資その他の資産合計	1,269,101	1,407,133
固定資産合計	5,344,229	5,707,979
資産合計	8,863,064	10,231,894

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,662	108,301
1年内返済予定の長期借入金	929,432	858,355
未払法人税等	133,644	236,939
前受金	841,172	1,430,884
賞与引当金	191,549	54,087
その他	1,126,116	1,354,192
流動負債合計	3,388,577	4,042,762
固定負債		
長期借入金	1,383,691	1,654,948
退職給付に係る負債	8,110	8,005
資産除去債務	509,021	517,178
その他	99,205	114,619
固定負債合計	2,000,028	2,294,751
負債合計	5,388,605	6,337,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,108	100,000
資本剰余金	178,349	313,457
利益剰余金	3,364,570	3,789,286
自己株式	△265,687	△265,687
株主資本合計	3,512,339	3,937,056
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△37,881	△42,675
その他の包括利益累計額合計	△37,881	△42,675
純資産合計	3,474,458	3,894,380
負債純資産合計	8,863,064	10,231,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	9,688,853	10,552,872
売上原価	7,578,179	8,157,425
売上総利益	2,110,673	2,395,447
販売費及び一般管理費	1,453,480	1,592,513
営業利益	657,193	802,934
営業外収益		
受取利息	1,193	487
受取手数料	6,207	6,099
為替差益	1,999	3,706
資産除去債務取崩益	-	2,558
その他	11,099	6,696
営業外収益合計	20,499	19,548
営業外費用		
支払利息	17,648	19,304
その他	3,856	6,723
営業外費用合計	21,505	26,027
経常利益	656,187	796,455
特別利益		
固定資産売却益	-	149
ゴルフ会員権売却益	-	161
受取和解金	2,400	-
事業譲渡益	3,772	2,363
特別利益合計	6,172	2,675
特別損失		
減損損失	7,135	9,082
特別損失合計	7,135	9,082
税金等調整前四半期純利益	655,225	790,048
法人税、住民税及び事業税	327,788	354,347
法人税等調整額	△49,305	△91,651
法人税等合計	278,483	262,695
四半期純利益	376,742	527,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	376,742	527,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	376,742	527,352
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,126	△4,794
その他の包括利益合計	4,126	△4,794
四半期包括利益	380,868	522,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380,868	522,558
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社一会塾の株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社一会塾が、株式会社ピグマリオン・アカデミアの株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ピグマリオン・アカデミアは、当社の連結子会社である株式会社一会塾を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	8,170,127	—	—	8,170,127	—	8,170,127
保育部門	1,039,561	—	—	1,039,561	—	1,039,561
その他の指導部門	401,575	—	—	401,575	—	401,575
飲食	—	—	47,151	47,151	—	47,151
顧客との契約から 生じる収益	9,611,265	—	47,151	9,658,416	—	9,658,416
その他の収益	—	30,437	—	30,437	—	30,437
外部顧客への売上高	9,611,265	30,437	47,151	9,688,853	—	9,688,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,315	16,579	—	17,894	△17,894	—
計	9,612,580	47,017	47,151	9,706,748	△17,894	9,688,853
セグメント利益又は 損失(△)	691,562	15,732	△8,806	698,487	△41,294	657,193

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△41,294千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において7,135千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	8,888,611	—	—	8,888,611	—	8,888,611
保育部門	1,131,078	—	—	1,131,078	—	1,131,078
その他の指導部門	450,655	—	—	450,655	—	450,655
飲食	—	—	51,193	51,193	—	51,193
顧客との契約から 生じる収益	10,470,345	—	51,193	10,521,539	—	10,521,539
その他の収益	—	31,333	—	31,333	—	31,333
外部顧客への売上高	10,470,345	31,333	51,193	10,552,872	—	10,552,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,824	15,581	—	17,405	△17,405	—
計	10,472,169	46,915	51,193	10,570,278	△17,405	10,552,872
セグメント利益又は 損失(△)	830,805	17,629	△2,961	845,472	△42,538	802,934

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△42,538千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9,082千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「教育関連事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、株式会社一会塾の株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

また、「教育関連事業」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社一会塾が、株式会社ピグマリオン・アカデミアの株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において159,021千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	246,699千円	270,892千円
のれんの償却額	3,827 "	16,450 "

(追加情報)

(資本金の額の減少)

当社は、2024年5月15日開催の取締役会において、下記のとおり、2024年6月27日開催の第38期定時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同株主総会において承認可決されました。

1 資本金の額の減少の目的

資本政策の柔軟性及び機動性を確保し、現在の事業規模に応じた適切な税制の適用を通じて財務の健全性を維持することを目的として会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行うものであります。なお、本件による発行済株式総数及び純資産額に変動はありません。

2 資本金の額の減少の要領

(1) 減少する資本金の額

資本金の額235,108,320円を135,108,320円減少して、100,000,000円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

3 日程

- | | |
|-----------------|------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2024年5月15日 |
| (2) 株主総会決議日 | 2024年6月27日 |
| (3) 債権者異議申述最終期日 | 2024年9月24日 |
| (4) 減資の効力発生日 | 2024年10月1日 |

4 今後の見通し

本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理のため、純資産額に変動はなく、当社業績に与える影響は軽微であります。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(連結子会社間の吸収合併)

1 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

①吸収合併存続会社

名称	株式会社一会塾
事業の内容	大学受験（医学部・難関大学特化型）専門の予備校運営

②吸収合併消滅会社

名称	株式会社ピグマリオン・アカデミア
事業の内容	学習塾への講師派遣業務

(2) 企業結合日

2024年11月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社一会塾を存続会社、株式会社ピグマリオン・アカデミアを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社一会塾

(5) その他取引の概要に関する事項

本合併は、当社グループの組織及び事業の合理化を図ることを目的としております。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。